

平成 30 年度 施策評価表

| | | | | | | |
|-------|--|-----------|--------|-------|----|-------|
| 施策 | 0305 | 図書館の充実と整備 | 施策担当部等 | 教育委員会 | 部長 | 吉村 武史 |
| | | | 施策担当課等 | 図書館 | 館長 | 鈴木 章子 |
| 施策の方針 | 図書館の機能を充実させるとともに、市民の読書活動を推進する。また、県立・大村市立一体型図書館（仮称）の整備を進める。 | | | | | |

【DO（実施）】

基本計画における目標値

| 指標名 | 単位 | 基準値 (H26) | H28目標値 | H29目標値 | H30目標値 | H31目標値 | H32目標値 | H29年度 | |
|------------------|----|--------------|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | | | H28実績値 | H29実績値 | H30実績値 | H31実績値 | H32実績値 | 達成率 | 進捗率 |
| ① 市民一人当たりの年間貸出冊数 | 冊 | 5.02 | 5.06 4.70 | 3.15 3.80 | 3.43 | 3.43 | 7.00 | 120.6% | 54.3% |
| ② | | | | | | | | | |
| ③ | | | | | | | | | |
| ④ | | | | | | | | | |
| ⑤ | | | | | | | | | |

施策達成状況の説明

平成29年9月30日の市立図書館閉館、約2か月間の図書サービス停止などが市民の読書活動に与えた影響は大きく、12月から仮事務所における図書サービス提供を再開したものの、貸出冊数は、前年比約7万5千冊、17.2%減少した。
 しかしながら、ここ数年減少傾向が継続していた中地区・郡地区公民館や住民センター図書室の貸出冊数は、前年比約1,200冊、1.7%増加した。
 引き続き仮事務所における図書サービスの提供を行いながら、長崎県立・大村市立一体型図書館（仮称）の開館に向けた図書の整備や広報等を行い、市民の読書活動の推進に取り組んでいく。
 長崎県立・大村市立一体型図書館（仮称）の整備について、平成29年4月に本体建設工事に着手し、29年度は計画どおり工事を進めることができた。引き続き、平成31年1月の竣工をめざして取り組んでいく。

施策経費

| (単位:千円) | | H29年度 決算 | H30年度 予算 | H31年度 見込 | 特記事項 |
|---------|-------|-------------|-------------|-------------|------|
| 内訳 | 事業費 | 666,291 | 1,781,283 | 284,410 | |
| | 国庫支出金 | 0 | 462,486 | 0 | |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | |
| | 地方債 | 32,900 | 942,200 | 0 | |
| | その他 | 43,577 | 154,593 | 121,880 | |
| | 一般財源 | 589,814 | 222,004 | 162,530 | |
| | 人件費 | 85,299 | 88,325 | - | |
| | フルコスト | 751,590 | 1,869,608 | - | |

施策の概要

| | | |
|--------|----------------------|--|
| 030501 | 図書館の充実 | 市民の読書活動や課題解決をサポートするため、図書資料を幅広く収集、整理、保存するとともに、レファレンス・サービスの強化に努めます。 |
| 030502 | 読書活動の推進 | 市民の読書活動を推進するため、講演会等の様々なイベントを開催します。また、幼稚園、保育所（園）、認定こども園等で「出張おはなし会」を行うなど、子どもの読書活動を推進します。 |
| 030503 | 県立・大村市立一体型図書館（仮称）の整備 | 市民の知識や知恵を育み、学びや暮らしを支える知的活動の拠点として、県立図書館と市立図書館の合築による一体型図書館の整備を進めます。整備にあたっては、同一の書架や共同の窓口カウンターを設置し、利用者の利便性向上を図るとともに、県内外から人々が訪れる新たな交流拠点として、出逢いにあふれた楽しい図書館づくりを推進します。 |
| | | |
| | | |

【CHECK（評価）施策担当部長】

| | |
|-------------------------|---|
| <p>施策を達成する上での問題点・課題</p> | <p>① 児童図書貸出冊数の減少 → こどもの読書活動の推進について 平成29年度に、計画期間延長（H25～H31）し、数値目標の再設定など大村市こども読書活動推進計画（H25～H29）の改訂を行った。今後、県立・大村市立一体型図書館の開館に合わせ、「第二次大村市こども読書活動推進計画（仮称、H32～H36）」を策定する際は、学校教育部門のみならず幅広い関係機関や団体等と連携しながら、新しい取り組みの検討を十分に行う必要がある。</p> <p>② 市立図書館休館の影響 → 県立・大村市立一体型図書館の早期開館に向けて 平成29年9月末の閉館後、「大村市立図書館・史料館仮事務所」に移転し、平成29年12月から一部の図書等サービスを再開したものの、貸出対象図書の減少（約14万7千冊から約2万4千冊へ）、貸出・閲覧スペースや駐車場台数の減少などの要因で、図書館利用者数や図書貸出冊数は大きく減少した。平成31年1月末の竣工から1日でも早い開館を可能にするため、長崎県、長崎県立図書館をはじめ関係団体等と、十分な検討を行う必要がある。</p> <p>③ 県立・大村市立一体型図書館の運用・施設管理手法等の協議・決定 一体型図書館の運用や施設管理等のソフト面については、県・市で平成28年度から協議を進めている。特に、それらを担う人員や経費の負担割合は重要な課題であるため、十分に検討を行う必要がある。</p> |
|-------------------------|---|

【CHECK（評価）評価調整委員会】

| | |
|-------------------------------|--|
| <p>（今年度は評価調整委員会による評価の対象外）</p> | |
|-------------------------------|--|

【ACTION（改善・改革）】

| | |
|-------------------------------------|--|
| <p>問題点・課題を踏まえた施策構成や新規事業についての考え方</p> | <p>平成31年のミライon複合施設のオープンに向けて、ハード・ソフト両面の準備を着実に進める。</p> <p>① 施設竣工後の施設や設備の適切な維持管理の実施 施設等の維持管理は、市が一元的に管理することで効率化を図り、長崎県は応分の財政負担を行う。</p> <p>② 来館者が使用する館内のソファ・椅子・テーブル等の備品等の整備 長い時間でも快適に読書や学習することができるような環境を提供できるように配慮する。</p> <p>③ 3核1モールの推進（中心市街地の賑わいを創出） 開館を記念し、様々な特別イベントを開催することで、県内外から多くの人々が訪れる新しい交流拠点、出逢いにあふれた楽しい図書館づくりを推進する。各イベントは、様々な手法で、全国に向けて情報発信を行う。</p> <p>④ 県立・大村市立一体型図書館の早期開館に向けて 平成31年1月末の竣工から1日でも早い開館を可能にするため、効率的な移転方法や配送、蔵書点検の手順など長崎県、長崎県立図書館をはじめ関係団体等と、十分な検討を行い、実施していく。</p> |
|-------------------------------------|--|

平成31年度新規事業

| 事業名（仮称） | 担当課 | H31年度見込 | 対象・事業概要など |
|-------------------|-----------|---------|--|
| | | 事業費（千円） | |
| 1 ミライon図書館備品等整備事業 | 社会教育課・図書館 | 84,023 | ミライon図書館オープンまでに、来館者が利用するソファや椅子、テーブルなどの備品を購入する。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| | | 84,023 | |